

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2014.2.25 No. 189 連絡先 FAX 042-555-1911



## 横田基地の航空自衛隊 2014年度中に 900名に増強！

横田基地の航空自衛隊は、2012年3月26日の運用開始時点では、約760名でしたが、2014年度中には、約900名に増強されることが分かりました。約900名の内訳は、航空総隊司令部：約260名、航空戦術教導団（仮称）司令部：約60名、気象関連部隊・警務関連部隊：約40名、作戦システム運用隊（仮称）：約390名、作戦情報隊：約150名です。下表の人数は全て約です。

横田基地の航空自衛隊	2012年3月26日	2013年度末	2014年度末
航空総隊司令部	220名	270名	*1 260名
航空戦術教導団（仮称）			*2 60名
気象及び警務関連部隊	40名	40名	40名
防空指揮群	380名	380名	*3 390名
作戦情報隊	120名	120名	*4 150名
計	760名	810名	900名



（第5ゲートの「航空自衛隊横田基地」の看板）

- \*1 航空総隊司令部は20名増員。航空戦術教導団へ30名。10名の減にとどまります。
- \*2 2014年度に新編される航空戦術教導団は、航空総隊司令部から30名、全国の航空自衛隊から30名。
- \*3 10名増。防空指揮群が作戦システム運用隊（仮称）に名称変更になるようです。
- \*4 福岡県春日基地の第二警戒資料処理隊の約30名が、作戦情報隊に統合されます。

## 2月16日 横田基地撤去の座り込み 晴天 足もとは深い雪

第59回横田基地座り込みは、記録的な大雪のあとの2月16日でした。福生フレンドシップパークは一面の雪。足もとに雪がない東屋まで、道路から道をつくり、座り込みをしました。

雪が道路に残る中、参加者は25人でした。感謝、感謝です。3月16日、第60回座り込み行動は、5年目の締めくくりです。4月20日、第61回座り込み行動は、6年目のスタートです。オスプレイはアメリカに帰れ、と要求する署名も始まります。



## 「辺野古の新基地建設中止が名護の民意」 平和委員会が防衛省交渉

2月19日、日本平和委員会は「名護市民の審判を無視した辺野古への新基地建設強行をやめよ」と、防衛省交渉しました。

防衛省側は「地元の理解を得てすすめていく」と述べながら、名護市民の審判は「一地方自治体のこと、コメント差し控える」など、不誠実でした。（T・M）（写真：神奈川県平和委員会提供）



## 2月25日、26日 米軍横田基地で人員降下訓練

防衛省北関東防衛局から周辺自治体に対し、横田基地で人員降下訓練を行うとの情報提供がありました。横田基地周辺市町基地対策連絡会は、基地の外に影響を及ぼさないよう安全対策に万全を期すよう、防衛省を通じ、横田基地へ申し入れたとのことです。

- 実施日時 : 平成26年2月25日(火)及び26日(水)  
通常の利用時間帯(午前6時から午後10時)の範囲で実施予定
- 内容 : 期間中の降下人員数は、延べ約20名の予定
- 特記事項 : ・横田防衛事務所から米軍に対し、日米合同委員会合意の遵守に努め実施するよう口頭で申し入れた。

### 記録的な大雪 横田基地も

雪がまだまだ残っている2月21日の横田基地で、チャーター機ATLAS(写真)が着陸しました。航空総隊司令部飛行隊のT-4もローアプローチ。

21日から24日にかけて、延べ8機のKC-10A空中給油機の出入りがありました。



### 神奈川県三浦市 昨年12月のヘリ墜落事故は「クラスA」米海軍が発表

昨年12月16日に神奈川県三浦市で起きた米海軍MH60Sヘリコプターの墜落事故は「クラスA」のきわめて危険な事故だったことが、米海軍安全センターの発表で分かりました。

米海軍の定義で「クラスA」は損害額200万ドル(約2億円)以上、機体の破壊、死者の発生、機材が恒久的・完全に使用不能となる最も重大な事故です。(写真:事故機、神奈川県平和委提供)



米海軍安全センターの発表(2月12日)によると、同ヘリはテールローター(尾部回転翼)が停止しオートローテーション(自動回転)を行っていたとしています。オートローテーションとは、飛行中のヘリコプターがエンジン停止状態のとき、機体の降下で発生する風圧で回転翼を回し(自動回転)ながら、降下速度を抑えて着陸する飛行方法。しかしメインローター(主回転翼)が1基のヘリは、テールローターが喪失・停止すると、機体が回り、制御不能に陥りやすい。

### 横田基地に新編するという「航空戦術教導団」(仮称)て何?

中期防衛力整備計画(2014年度～2018年度)の、「基幹部隊の見直し等」の項目の航空自衛隊のところに、「高度な戦術技量の一層効果的な向上のため、訓練支援機能を有する部隊を統合する」と書いてあります。これを受けて、2014年度予算案の「主な部隊改編関連事業」の項目に、「航空戦術教導団」(仮称)の新編が盛り込まれています。これは、何でしょう。

1月3日付の産経ニュースによると、【戦闘機と地对空誘導弾の戦闘技術を高める教導隊を集約し、北朝鮮の弾道ミサイル発射基地を念頭に敵基地攻撃能力の研究に着手。】【敵のレーダーを無力化するための電子戦の能力向上に向けて「電子作戦群」も新設する。】、【団全体では約1千人の規模を想定】。ミサイル基地などの攻撃目標に近づき、爆弾投下のタイミングを指示する「爆撃誘導員」の育成や訓練の内容も具体化させるそうです。この司令部が横田基地に来ます。